

新潟県・上越市へ

船員政策と地域の諸課題を申し入れ

新潟支部は、2 月 21 日に佐渡汽船株式会社および日本海舩船株式会社の現場組合員代表とともに、新潟県上越市役所を訪問し、第 85 回定期全国大会決定事項に基づく政策諸課題に関する申し入れと、上越市の地域に関連する課題として、佐渡航路の維持・存続に向けた行政の支援、そして直江津港の活性化に向けた取り組み推進などを求めた。

申し入れは、浅野忠行新潟支部長から申し入れ文書を手交するとともに、申し入れの趣旨について詳細に説明した。

小田基史上越市副市長から「小木・直江津航路の維持に向け、これまで新潟県や佐渡市と連携し、可能な支援策を講じるとともに、利用客の拡大に向け、二次交通の確保など対応を進めており、佐渡金銀山遺跡の世界文化遺産登録を踏まえ、引き続き可能な支援に取り組んでいきたい。直江津港の活性化に向けては、新たな企業団地の整備を進めているほか、本年は 8 年ぶりとなるクルーズ船の入港が予定されている。また、港や海に親しむ活動として、直江津港見学会を本年度も開催するよう取り組みを推進したい」との考え方が示された。

同席した佐渡汽船の中川貴史職場委員から、小木・直江津航路への支援に対する謝意が述べられ、次世代の船員確保や直江津港の活性化について意見交換を行うことで共通認識を深め、継続的な行政対応をお願いし、申し入れを終えた。

「海員だより」